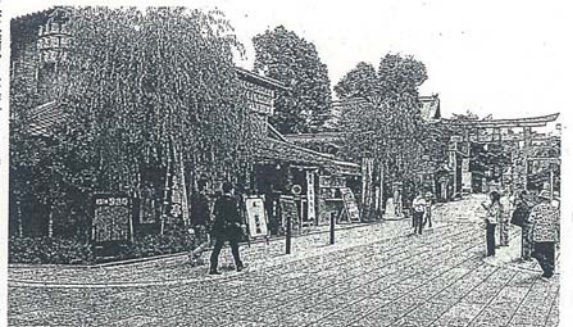


お笑い参道 石畳設計披露

大阪天満宮周辺 市、来春完成目指す



石畳舗装の完成イメージ図 (左の建物は天満天神繁昌亭)

大阪市が、大阪天満宮北
区北門前のにぎわい復活

周辺はかつて寄席などが立ち並び、「天満八軒」とうたわれた芸能の街。戦災で姿は失われたが、2006年に落語の定席「天満天神繁昌亭」がオープンし、入出が戻りつつある。
石畳への張り替えは、地元住民らでつくる「天満地区HOPEゾーン協議会」と市が、古い街並みづくりで人をさらに呼び込もうと、昨年から勉強会を重ねて設計案を練り上げた。
天満宮北側の南北90メートル、東西180メートルの市道を、御影石や石畳風のコンクリート舗装で整備し、車止めや照明も石畳舗装に合わせて落ち着いた色合いにする。
披露会で平松邦夫市長は「市に素晴らしい街並みが戻ってくるきっかけになればとあいさつした。」



チャーム

◆…落語の定席「天満天神繁昌亭」などがある大阪天満宮(大阪市北区)の北門周辺の市道を石畳で舗装する計画
完成予想図が18日、発表された。
◆…歴史的な町並みの復元と保存を図る大阪市事業の一環。今年秋から約1億5千万円をかけて市道計約270メートルに石畳を整備し、今年度中の完成を目指す。
◆…大阪天満宮・天神祭は日本三大祭りのひとつ。境内での計画披露会に出席した平松邦夫市長は「景観整備を契機に、日本最大の祭りへと飛躍を」。

を寄せていた。

和の装い 石畳舗装

天満地区 完成予想図を披露



関係者によって披露された石畳の舗装の完成予想図=18日午前、大阪市北区

大阪市北区の天満地区にある天神新門かい補助制度を使い、石畳の舗装に整備されることになり18日、大阪天満宮で整備計画の完成予想図が披露された。周辺は同地区内にある大阪天満宮をはじめ、天満天神繁昌亭などの景観にマッチした和の装いに生まれ変わる。同市が地域住民らとともに、歴史・文化的な雰囲気を生かしたまちづくりに取り組み「HOPEゾーン事業」の一環。
計画では、周辺の道路計約270メートルが対象。地域住民のアンケートで石畳の舗装を求める声が多かったため、整備に向けた勉強会を重ねてきた。石畳の色彩については車道と歩道で分けるなど、歩行者に配慮したつくりになる。車止めや周辺の照明整備も石畳の雰囲気に合わせて。今秋にも着工し、来春の完成予定。
平松邦夫市長は集まった関係者を前に「大阪の素晴らしい町並みが戻るきっかけにしたい」と話した。

- 叙位叙勲(16日)
- 従五位 元守口市議村野泰夫氏(79) 守口市桃町3の15(6月19日死去)
 - 正六位 元真面目市立正々呂美小学校長玉井寿男氏(90) 茨木市東福井2の8の3(6月18日死去)

光前、三披露、風の目にして広がって、いけばと話していた。